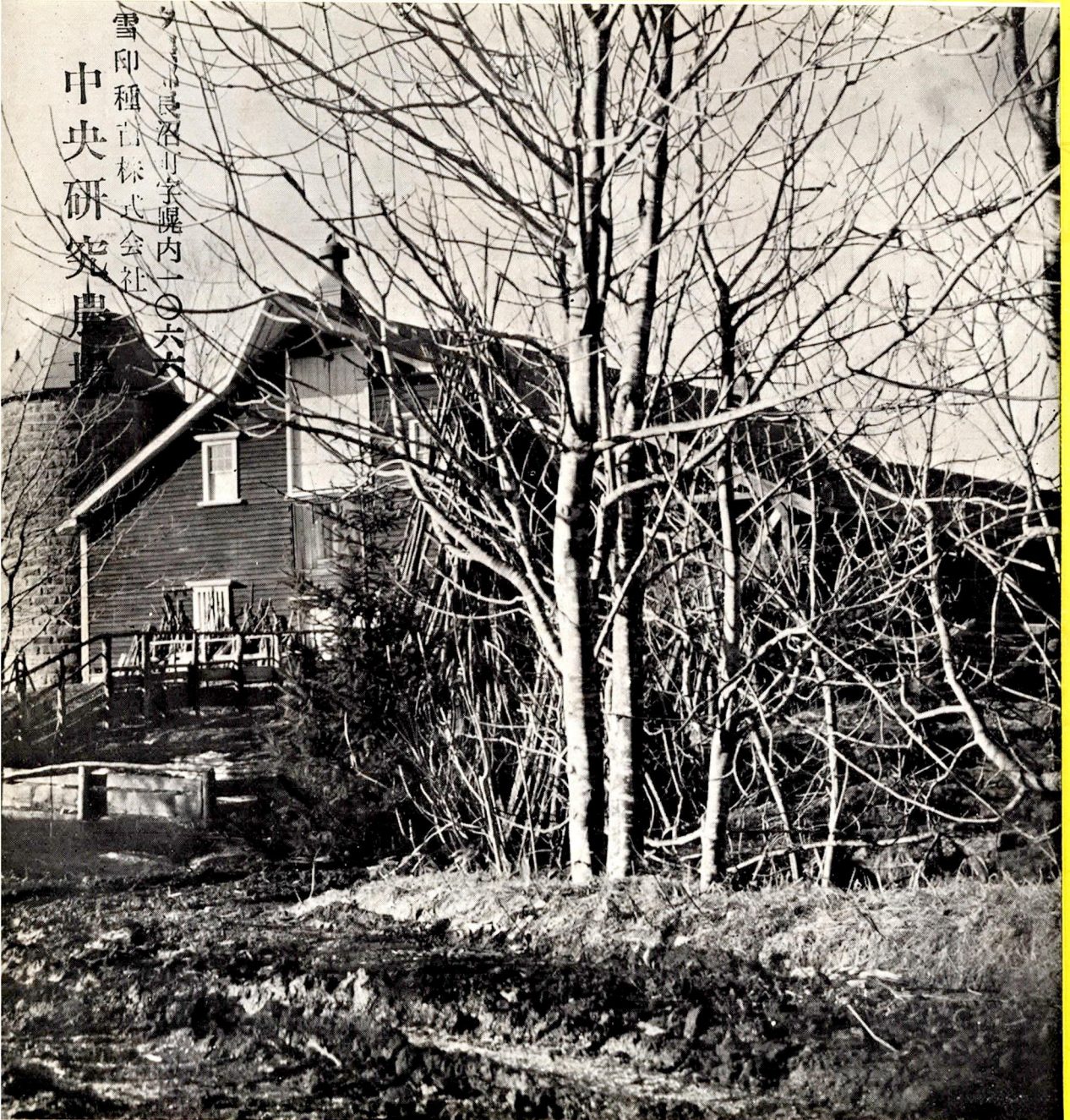


藝園草牧

第四卷・第十二号

昭和二十八年五月十五日第三號郵便物認可
昭和三十一年十一月一日(毎月一回)日發行



夕日町長沼町字隼内一〇六六
雪印種苗株式會社
中央研究農園

雪印種苗株式會社

青刈による一毛半作

山本 健吾

青刈大麦

立地条件の不利な東北地方で、水田二毛作が種々の困難を生ずる原因は、前後作物の生育期間の重複にあることは既に御承知の通りであるが、麦類の用途が飼料を目的とするものならば青刈とすることによつて、この点は比較的容易に解決されることになる。

最近農業経営の合理化のために、水田地帯に積極的に家畜を導入しようとする気運があるがそこで最初に問題となるのは飼料の入手である。水田裏作に青刈飼料作物が栽培されるならばこれらの困難は解消され、ひいてはそこに水田酪農の成立が認められることとなるのである。

子実用大麦栽培と青刈用大麦の栽培では本質的に相異なるところはないが、青刈用の場合は子実用以上に生産コストを引下げたための栽培法をとるべきである。

いま特に青刈用栽培法が普通耕種法と異なる点をのべれば次のようである。

子実用大麦の栽培では特に早生種が要請されるのであるが、青刈の場合は晩熟種であつてもその刈取期は五月中であるから跡

作種の挿秧に支障を来さない。従つて通常裏作には採用されない小麦、ライ麦等ですら、青刈として利用するならば差支えないということになる。そこに子実用と異なる青刈の特異性があるのであつて、最近秋田、山形県下には耐雪性の強い青刈ライ麦が漸次普及し、岩手県にも栽培が増加しているようである。

特に青森県の如く、今日でも普通の子実を目的とした二毛作型式が全く見られなかつた地方にも約四〇町歩の青刈ライ麦の栽培があることは注目される事柄である。う。

(イ) 品種 青刈大麦としては、青森県では細粒二号、秋田県では大麦四号が栽培されているけれども青刈麦の品種に関する試験は少ない。

筆者の調査によれば、広葉長稈の晩熟品種が一般に生産量が六であった。試作した品種中では、関取三号、六角一号、仙北、みやこ、白大麦七九号、飛駒、長岡など収量多く適当であることが判つた。ライ麦ではペトクイザ種がよく、小岩井種は耐雪性が強い。

青刈麦の耕種法として子実用として子実用の場合と異なる点は播種面積を増し、や

や厚蒔とすることが収量をあげることになる。また春季の窒素肥料の追肥を多用し、これは三月から四月下旬まで数回施すことが有利である。

(ロ) 刈取適期 融雪後、早春の飼料を賄うためにはなるべく早期に刈取る必要があるわけであるが、時としては青刈の適期に一回刈を行つてなるべく多収をあげ、これを貯蔵することが望ましい。

刈取期の選定は単に生産量の点からのみではなく、栄養価の点からも考慮すべきである。刈取期が遅れるに従つて茎葉が粗剛となり飼料価値を減ずるもので、出穂直前が刈取の適期とされている。

神立氏の試験成績によると、第一、二、三表のような結果であつて、青森県では五月末の刈取が量的にも質的にも最高となるのである。しかし宮城県での筆者の調査では前掲晩熟の青刈大麦でもその収穫期は五月二十日頃が適当であつた。

神立氏は更に前掲の成績から、牛、馬、羊各一頭を一年間維持するに必要な水田反別を計算している。

	牛(反)	馬(反)	羊(反)
青刈ライ麦	七〇八	八〇九	四
青刈大麦	二一三	二一六	五〇六

青刈麦の刈取時期である五月下旬は、そろそろ雨天が多くなり始めるので、雨天の

場合には刈取ると、栄養価にどのような影響が生ずるのであろうか。

即ち刈取直後に生食させるには差支えないが、長く貯蔵させる場合には雨天の場合をさけ、なるべく速かに乾燥を図るべきである。

(ハ) 乾燥貯蔵 乾草というのは生草体内の水分を抜き、速かに草を殺し、生草量の四分の一から三分の一程度に干し上げるところに要点がある。従来行われていた陽乾法は日照の力のみで乾草を作り上げる方法であるが、晴天の長つづきしない東北

牧草と園芸 十二月号 目次

- ◆初冬のうす陽がもれて (雪印種苗上野幌育種場にて)
- ◇積雪寒冷単作地帯の営農改善……………山本 健吾…二
- ◇除草剤クロレイトソウダの使い方……………四
- ◇放牧地の管理……………E・M・ブラウン…七
- ◇りんごの貯蔵について……………高橋 正治…九
- ◇園芸座談会「蔬菜の品種と栽培技術について」……………三

地方としては、降雨に災されて有害かびを発生して、青色を失い、また酸酵乾草法は生乾きの草を堆積して、発熱する程度の酸酵を起させて自然乾燥を図る方法である。これは成品が褐色に仕上るのが普通で良い品質の乾草が得難い。そこでこの両者を組合わせた風乾乾草法がよいとされている。その要領は晴天一日を見計い、日照と風の力を合理的に活用して草を速かに殺し、一日に六分〜七分乾きの程度まで乾燥させる。残りの水分は堆積の方法によつて低温酸酵を起させて乾燥した葉の部分へ、茎の部分

第1表 青刈麦刈取期の早晚と生草量との関係 (青森県農事試験場)

種 類	刈取期	草丈	高刈区		低刈区	
			一番刈	二番刈	一番刈	二番刈
ライ麦 (ペトクーサ)	五月五日	四三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	五月二五	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	五月一五	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	五月一〇	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	五月五	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	五月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	四月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	三月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	二月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	一月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	十二月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七
	十一月	三〇	三三	三三	一〇四	二九七

第2表 青刈麦刈取期の早晚と飼料価値との関係
青刈ライ麦の可消化養分反当収量 (乾)

刈取期	反当	乾草重	粗蛋白質	純蛋白質	粗脂肪	粗セルロース	可溶無窒素物	澱粉価
五月五日	四九四	一四三	二〇	八三	二七	二八	一九三	三六
五月一五	八三三	一八三	三三	八四	二七	二八	一九三	三六
五月二五	一六五八	四六	三七	二六	六一	八七	一〇六	四七
五月三〇	二九八四	四三	一七三	八〇	三二	八〇	九三	一〇〇
六月五	三五六	五〇	一八一	二七	四五	一〇七	二五九	一四九

青刈大麦の可消化養分反当収量 (乾) (2)

刈取期	反当	乾草重	粗蛋白質	純蛋白質	粗脂肪	粗セルロース	可溶無窒素物	澱粉価
五月五日	三三二	四四五	六九六	五九	〇四三	四四	八三	一四一
五月二五	一七七	三六五	一九六	二八七	三九	四一	八〇	九八〇
五月三〇	二六〇	二九九	一四七	六七	三六	三七〇	七〇	八三
六月五	二四五	四八六	一八三	三七	四七	六六	一五八	一七四

第3表 青刈大麦の刈取日の天候と栄養

区 別	水分	粗蛋白質	粗脂肪	粗セルロース	粗灰分	可溶性無窒素物	澱粉価	粗澱分
晴天刈取	一六四	一四三	二四七	三三	二九	三六	四〇	三三
雨天刈取	一九五	一三七	二二	三〇	〇九	四〇	三〇	一六六

に残る水分を移行分散させ、再乾燥によつて抜水を完成させるものである。
刈取の時刻を晴天の日、出穂直前的大麦を早朝朝霧のある鎌の切れ味の最もよい午前四時頃から始め、日が照つて乾燥能力を發揮する午前九時頃までに終る。
株側に倒された麦は日照が強くなるにつれ乾燥し、葉はクルリと管のように抱き始める。このところに刈り合せておいた草を刈跡に散らす。
この際はホーク、または刺叉を用い、空間に草を舞い上げるように活潑に行うことが必要である。地上に一時間も乾燥させると表面が乾くので反転作業に取りかかり、一時間毎に一回の割合で午後三時ごろまでくりかえす。その後草を集めて小堆積を作るのであるが、翌日晴天があれば午前十時から解堆し、前日の作業をくりかえす。

第二日目の堆積はそのまま約一週間放置し、その間に醗酵させる。勿論この間、夜露や降雨を防ぐための小雨覆をかぶせるのであるが、一週間晴天の日を選び、午前十時ごろから薄く地上にひろげ、一、二時間乾し、雑草を選別する。これで完全に乾し上るので結束または圧搾し、屋内に格納するのであるが、このようにして製造した乾草であれば独特の香氣を有し、盛夏をこして黴の発生もなく冬季までの貯蔵がきき飼料価値も高いものが出来る。

また埋蔵飼料として貯蔵する方法もあるが、青刈麦の最も有効な点は早春の生草不足している際の補給にあるから多数の家畜を飼育するようになって、飼料の貯蔵が始めて大量に必要となるであらう。

(宮城県農業試験場副場長・農学博士)